

桐生西ロータリークラブ週報



2012-13年度RIテーマ

田中作次 2012-13年度 国際ロータリー会長 **Peace through Service**

例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi
 会長 東郷庸史 広報活動委員長 奥村 勉 広報活動委員 岡田善孝・櫻井和彦
 幹事 坪井良行 クラブ報 雑井 当 鳥嶋隆一 根本正則 (専任編集・IT・CI/CO担当)

No. 1899

2013年6月14日発行

第2017例会 (2013・6・7) 報告

曹洞宗 大慈山 光明寺 早朝坐禅例会

暑からず寒からずの最良の時節6月7日(金)に、坪井良行幹事が住職を務める『光明寺』にて、早朝坐禅例会を行いました。出席会員は27名でした。

午前6時30分の点鐘に備え、クラブ運営委員の皆さんが早くから駐車場案内に立って会員を出迎え、定時に本堂にて、近藤幸利副会長の点鐘で例会を開始しました。

幹事と住職の二役を担う坪井住職から坐禅の心得をご教示頂き、例会終了後、三つの鐘を合図に約10分間

の坐禅を行いました。その後、般若心経など略式の朝課でお経を上げて頂き、続いて仏教の一元論についての法話をお聴きしました。

そして庫裡へ移動し、先ず『五観の偈』を全員で唱えてから、熱々の朝粥を、特別に用意して頂いた厚揚げの煮物とお漬物を添えて頂いて、大変美味しく頂戴しました。

清々しい空気と最高のお粥を十二分に頂いて、一日の鋭気を養わせていただきました。



近藤副会長から光明寺さんとクラブ運営委員さんにお礼の言葉



幹事として例会の進行を務める坪井良行住職



坐禅の組み方や姿勢、半眼についての説明をうけて姿勢を正す会員の皆さん



坪井住職の三つの鐘を合図に10分間の坐禅開始



坪井住職の拍子木の合図で五観の偈を唱えてから熱々の朝粥を頂きました。

大間々高校インターアクトクラブ活動報告(続編)



大間々高校IAC顧問 外山宏美先生による補足説明

先程もお話しがあった『鹿田山環境保全ネットワーク』についてですが、大間々高校OBの保護者の方がこのネットワークの一員でお声掛け頂きました。また学校教育の中で、今環境教育が重要視されておりますので、この活動に参加しております。このさつまいもの植え付けは、鹿田山の原風景をもっと豊かにして後世に残す里山をつくるという活動の一つです。この活動には多くの団体が参加していて、特に保育園や幼稚園児などの子供達が多く、当校は渡瀬養護学校さんからもお声掛け頂きました。これから社会へ出ていく高校生が、戸惑う事が無いよう、他校の高校生との活動を増やして行こうという趣旨もあります。さつまいもの他、通路の整備や菜種油も今後作って行こうという話もあり、活動の場を広げて行けたらという思いもあるようです。

もう一つは、『いきものいっぱい田んぼ(いきたん)プロジェクト』についてです。主宰者の東京にお住まいの高橋さんと、みどり市の田んぼの所有者がお知り合いで、上神梅の田んぼは場所がとても良いので、持ち主の方をお願いして作った田んぼです。本校に協力の依頼があり、活動を行っております。冬水田んぼと言って、生き物が一年中豊かに生息するような里山を目指しています。この活動に参加するにあたって説明会があり、本来の日本の稲作や安全なお米についてなど教えて頂きました。今年初めて行うので様子が良くわかりませんが、生徒達と一生懸命取り組んで行けたらと思っています。

従来の様に、大間々高校とインターアクトクラブが、桐生西ロータリークラブと連携して良い活動が出来ればと思っていますので、今後とも宜しくお願い致します。

2013ロータリー世界平和フォーラム広島



5月17～18日、世界平和フォーラム広島が、広島国際会議場及びANAクラウンプラザホテル広島で開催されました。このフォーラムにあわせ、田中作次RI会長は、ロータリーや地元のリーダーと共に平和記念公園を訪れ、慰霊碑に献花しました。その後RI会長は、

広島平和資料館を訪問し、多くの世界のリーダーが名前を記してきたゲストブックに記帳しました。

田中RI会長にとって「平和」は重要な意味を持ちます。2012-13年度のRIテーマを「奉仕を通じて平和を」としたRI会長は、ロータリアンや一般の人々、特に若い人達が日常の生活を通じて平和を見つめる機会を提供する為、3回の平和フォーラムを主催しました。

広島平和フォーラムには、ロータリアン、地域のリーダー、学生やロータリー平和センタープログラム学友など、2,700人以上が参加しました。また、湯崎英彦広島県知事と松井一實広島市長もパネル・ディスカッションに参加しました。

今回の広島フォーラムの前には、ベルリンとホノルルでも平和フォーラムが開催されました。いずれも、第二次世界大戦で甚大な被害を受けながら、現在は持続可能な平和の象徴となっていることから、平和フォーラムの開催地として選ばれました。

田中RI会長は、フォーラムの閉会の辞で、「一つひとつのロータリーのプロジェクト、一つひとつの奉仕が、愛と思いやりを育みます。適切な方法で、正しい理由のために奉仕すれば、平和と調和の中で、人々が一体となれるはずです」と、述べました。



ロータリー・ニュース: 2013年5月28日より一部抜粋

紙面上理事会報告 6月6日

1. 新会員推薦書を受理する。

《次例会予告》

6月21日(金) さよなら例会

点鐘 PM6:30、会場 桐生プリオパレス



早朝坐禅例会場 曹洞宗大慈山光明寺のご紹介

大慈山光明寺は、桐生市の名所のひとつである『吾妻公園』の隣に位置する曹洞宗のお寺です。千二百有余年の寺歴を誇り、千手観世音菩薩をご本尊とする東毛第三十二番札所、石造宝珠弁財天をお祀りする桐生七福神第一番札所という名刹です。そして大本山永平寺と大本山総持寺を本山としています。



伝えるところによりますと、聖武天皇の勅願で霊地を求めておられた行基菩薩が、ある夜、観音様からの夢のお告げを受けました。それは「渡良瀬川のほとりの吾妻山景に囲まれたところに聖地があります。そこに観音像を刻んでお祀りすれば、多くの人々を済度することができます。」と言う内容のお告げでした。行基菩薩が、観音様のお告げによるところの土地を訪ねますと、あまりにも見事な霊地であることにたいへん喜ばれ、さっそく一宇のお堂を建てた上に、刻み上げた千手観音像を祭祀されました。お堂には、月光が輝くが如くに池に映る荘厳なまでの境内の景観を賞でて「水月場」の名を付け、永く桐生の護りを誓願されました。時に天平年中のことでした。

開創後およそ九百年ほど降って、徳川時代の初期の寛永元年(1624)、水月場では鳳仙寺七世・儀拈牛把禅師を開山に迎えて一寺を建立しました。そのときに「水月場」を「大慈山光明寺」と改めて、曹洞宗の修業道場として発展させました。これが現在の光明寺興隆の基点となったわけです。

光明寺のご本尊は、千手観世音菩薩です。この観音様は、行基菩薩の作と伝えられている、たいへんに優れた文化財価値の高い尊像で、光明寺の寺宝の一つとなっています。とくに「家門繁栄」「諸願成就」「安産・子育て」に霊験があらたかとされています。